



今城 克啓 議員

幼児期における質の高い教育・保育の実現と、農山村地域への人口誘導について

農山村に賑わいを作り出すような子育てや空き家対策を進めるべきでは？

答

地域の特色を活かした保育や、空き家紹介システムへの登録を進めます。

問 市内外の子育て世代の方々を引き付けるような、地域の魅力を活かした教育・保育プログラムをどのように進めていくのか。

答 子ども未来部長

様々な保育・教育の取り組みを発信して、子育て世代の移住・定住を促進しています。子育て環境もさらにアピールしていきたいと考えております。

問 生産力の向上など市全体の活性化のためには、市街地から農山村地域へと人が移動する

流れを作り出す必要がある。農山村に立地する園の園児数が大幅に減っているが改善すべきでは。

答 子ども未来部長

保護者の選択肢を増やし、地域の特色を活かした保育をアピールしていく中で検討すべきと考えます。

問 農山村に賑わいを作り出すには、空き家の発掘や空き家の所有者への働きかけ、および空き家活用の営業活動を進めることも重要では。

答 市民生活部長

空き家の掘り起こしや、空き家紹介システムへの登録が進むよう取り組んでいきます。



伐採からの木の学習机づくり

問 子育て世代の移住・定住の促進は他市町との競争である。立地条件を活かし全国モデルケースになるようなプログラムを進めるなど、農山村地域の園児数を増やす努力をすることは、園の集約化を進めるよりも先んじて取り組むべきであると考えますが、市の所見は。

答 子ども未来部長

農山村と市街地との地域バランスについては研究してまいります。



田んぼの生きもの学習

問 乳幼児の教育・保育は、単年度ごとに切れ目のある事業とは根本的に性質が異なる。集約等に伴って実際に閉園する場合は、相当早いタイミングから地域への聞き取りや相談を行うべきである。

答 子ども未来部長

現在の時点では、具体的には考えておりません。